

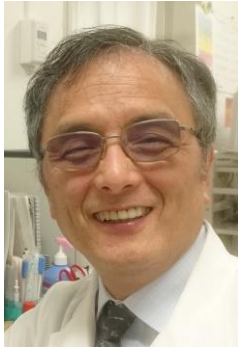


- 1)第51回 日本頭痛学会総会会長 山元 敏正 先生よりご寄稿
- 2)第51回 日本頭痛学会総会開催のお知らせ
- 3)Headache Master School Japan(HMSJ)2023 Autumnal Semester 開催のお知らせ
- 4)国際頭痛学会 教育動画について
- 5)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介



1) 第51回日本頭痛学会総会会長 山元 敏正 先生よりご寄稿

第 51 回日本頭痛学会総会について



第 51 回日本頭痛学会総会

会長 山元 敏正

埼玉医科大学 脳神経内科 教授

第 51 回日本頭痛学会総会(2023 年 12 月1日, 2日)について, ご案内させていただきます.

本総会のテーマは「革新的進歩がもたらす最新の頭痛診療を患者さんのもとへ」としました. 頭痛診療の向上には, 医師以外に看護師, 薬剤師や理学療法士などによる多職種連携が必要不可欠です. 本総会では, 頭痛に日々苦しんでおられる患者さんのために, 現在, 我が国で実施可能な最先端の頭痛診療を参加者全員で学び, 今後の診療に活かして頂きたいと考え, テーマを決めました.

総会の内容としては, 特別講演として, 箱根駅伝で有名な青山学院大学の原 ^{すすむ} 晋 教授にお願いし, 頭痛診療に携わる若手医師の人材育成のコツを学びたいと思います. また本学会の代表理事である竹島 多賀夫 先生には日本頭痛学会の展望についてご講演をお願いしております. 日本頭痛学会の国際化に向けては, 日韓共同シンポジウムを2日間にわたって開催し, 初日は臨床, 2日目は基礎研究をテーマにしました. 頭痛診療には様々な領域の先生方が関わっておられます. 顔面痛に関するシンポジウムでは, 歯科口腔外科, 脳外科, 耳鼻咽喉科, 眼科のエキスパートの先生方に参加して頂いております. 頭痛学会には開業医の先生方やコメディカルス

スタッフも多数参加されます。そのため、改めて学ぶ頭痛学と題して、頭痛に関する24演題のレクチャーシリーズを2日間、午前と午後におこないます。東洋医学学会との共同シンポジウムを開催し、また鍼治療の実演も予定しております。総会前日の11月30日(木)のプレングレスには日本人の若手研究者二人と米国ガイゼル医科大学 Tepper 教授との間で頭痛研究について意見交換をしていただく予定です。またこれ以外にもアジア地域頭痛コンソーシアム (ARCH)会長 オーストラリア ウェスタンヘルスの Wijeratne 教授、メイヨークリニックの Dodick 教授にも講演をお願いしております。この他、多数の企画を用意しておりますので、楽しんで頂きたいと思います。

皆様方のご参加を医局員一同、心よりお待ちしております。

2)第51回日本頭痛学会総会 開催のお知らせ

第51回日本頭痛学会総会は「革新的進歩がもたらす最新の頭痛診療を患者さんのもとへ」というテーマのもと、下記の日程で開催されます。現地開催を主体とし、会期終了後にオンデマンド配信も予定されています。会員の皆様は奮ってご参加ください。

開催日：2023年12月1日(金)・2日(土)

会場：パシフィコ横浜 会議センター 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会長：山元 敏正 先生（埼玉医科大学 脳神経内科 教授）

ホームページ：<http://jhs51.umin.jp/index.html>

3)Headache Master School Japan(HMSJ)2023 Autumnal Semester Okinawa 開催の

お知らせ

学会ホームページおよびメールでご案内した HMSJ 2023 Autumnal Semester Okinawa の受講は本日10月20日が締め切りとなっております。受講をご希望の方は、下記ホームページの受講申し込み専用フォームよりお申込ください。なお開催概要は以下の通りです。

このたび、秋季 HMSJ が3年ぶりに現地開催となり、沖縄県で開催されることとなりました。加えて web 参加も可能なハイブリット形式で開催される予定です。頭痛専門医を目指す先生方には、HMSJ の参加が教育認定病院での研修歴の一部に代替されます(詳細はホームページをご参照ください)。また、頭痛専門医の先生方には、専門医更新のための研修認定単位 10 単位が付与されます。いずれの場合も HMSJ の全日程を参加視聴のうえ、ポストテストに合格する必要があります。

開催日: 2023年11月19日(日) 9:00~16:55(予定)

会場: 沖縄県市町村自治会館 〒900-0029 沖縄県那覇市あさひ町 116-37

募集期間: 2023年10月20日(金)まで (締め切り厳守)

受講費: 20,000円(事前振り込み)

実行委員長: 寺山 靖夫先生 (医療法人社団健育会 湘南慶育病院 脳神経センター長, 日本頭痛学会教育関連委員会 委員長)

ホームページ: <http://hmsj2023-2.umin.jp/outline.html>

4)国際頭痛学会 頭痛疾患資材 日本語版動画について

国際頭痛学会(International headache society: IHS)は、頭痛性疾患の説明動画を各国の言語で作成し、YouTube に公開しています。日本語版の作製には本学会員の先生方が参加され、現在までに「片頭痛」「緊張型頭痛」「群発頭痛」「薬剤の使用過多による頭痛:MOH」についての動画が公開されています。大変充実した内容の動画となっていますので、是非ご視聴ください。

なお、日本頭痛学会のホームページでは「動画で学ぶ頭痛」の中に収載されています。

国際頭痛学会 頭痛疾患教育資材(日本語版): <https://www.jhsnet.net/seminar3.html>

5)頭痛研究トピックス~広報委員より最新の論文をご紹介します

- 片麻痺性片頭痛に対する CGRP 関連抗体薬の効果

Danno D, et al. Treatment of hemiplegic migraine with anti-calcitonin gene-related peptide monoclonal antibodies: A case series in a tertiary care headache center. Headache. 2023 Jun 27. doi: 10.1111/head.14591.

掲載日:2023/7/20 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_142.pdf

- 抗 PACAP 抗体 Lu AG09222 の PACAP38 誘発性血管拡張作用に対する阻害効果

Rasmussen NB, et al. The effect of Lu AG09222 on PACAP38- and VIP-induced vasodilation, heart rate increase, and headache in healthy subjects: an interventional, randomized, double-blind, parallel-group, placebo-controlled study. J Headache Pain 2023; 24: 60.

掲載日:2023/7/20 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_143.pdf

- Atogepant の慢性片頭痛に対する第 3 相臨床試験 (PROGRESS)

Pozo-Rosich P, et al. Atogepant for the preventive treatment of chronic migraine (PROGRESS): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial. Lancet. 2023 Jul 26;S0140-6736(23)01049-8. doi: 10.1016/S0140-6736(23)01049-8.

掲載日:2023/8/17 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_144.pdf

- 貨幣状頭痛の長期経過: 168 名の患者追跡調査

García-Iglesias C, et al. Long-term outcomes of nummular headache: A series of 168 patients and 1198 patient-years of follow-up. Cephalalgia. 2023 Sep; 43(9): 3331024231201576. doi: 10.1177/03331024231201576.

掲載日:2023/10/19 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_145.pdf

【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見, 問い合わせは <jhs-office@shunkosha.com>までお願いいたします.